

北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業

平成23年度 環境モニタリング調査結果

日本環境安全事業株式会社

北九州事業所

<周辺環境>

要素	調査地点 ^(注1)	調査項目	単位	測定結果				年平均	頻度	(参考) 環境基準値等
				5月	8月	11月	2月			
大気	敷地南西端	PCB	mg/m3	0.00000023	0.00000015	0.00000023	0.00000016	0.00000019	1年に4回	0.0005以下
		ダイオキシン類	pg-TEQ/m3	0.015	0.023	0.066	0.069	0.043		0.6以下
		ベンゼン	mg/m3	0.0014	0.0016	0.0019	0.0033	0.0021		0.012以下
水質 (海水)	雨水洞海湾出口沖	PCB	mg/L	0.0005未満 ^(注2)	0.0005未満 ^(注2)	0.0005未満 ^(注2)	0.0005未満 ^(注2)	0.0005未満	1年に2回 (自主的に4回)	検出されないこと
		ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.090	0.076	0.067	0.075	0.077		1以下
地下水	雨水敷地出口付近	PCB	mg/L	/	/	/	0.0005未満 ^(注2)	/	1年に1回	検出されないこと
		ダイオキシン類	pg-TEQ/L	/	/	/	0.100	/		1以下
土壌	雨水敷地出口付近	PCB	mg/L	/	/	/	0.0005未満 ^(注2)	/	1年に1回	検出されないこと
		ダイオキシン類	pg-TEQ/g	/	/	/	0.062	/		1000以下
底質	雨水洞海湾出口沖	PCB	(成分)	mg/kg	/	/	/	0.05未満 ^(注3)	1年に1回	—
			(溶出)	mg/L	/	/	/	0.0005未満 ^(注2)		—
		ダイオキシン類	pg-TEQ/g	/	/	/	3.4	/		150以下
生物 ^(注4)	雨水洞海湾出口沖	PCB	pg/g-wet	/	/	/	620	/	1年に1回	—
		ダイオキシン類	pg-TEQ/g-wet	/	/	/	0.022	/		—

(注1:調査地点は添付2に示す)

(注2:検出限界値は0.0005mg/L)

(注3:検出限界値は0.05mg/kg)

(注4:調査対象はムラサキインコガイ、生息数は極端に減少(平成21、22年度は生息状況のみの調査))

北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業

平成23年度 環境モニタリング調査結果

日本環境安全事業株式会社

北九州事業所

<排出源>

要素	調査地点 ^(注5)		調査項目	単位	測定結果				頻度	管理目標値
					5月	8月	11月	2月		
排気 (1期)	洗浄排気1	1G1	PCB	mg/m ³ N	0.00048	0.00049	0.00026	0.00068	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N		0.018		0.011	1年に2回	0.1以下
	洗浄排気2	1G2	PCB	mg/m ³ N	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.000031	0.00001未満 ^(注6)	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N		0.000017		0.0000092	1年に2回	0.1以下
	液処理系排気1	1G4	PCB	mg/m ³ N	0.000041	0.000038	0.00033	0.00001未満 ^(注6)	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N		0.011		0.00067	1年に2回	0.1以下
			ベンゼン	mg/m ³ N		1未満 ^(注7)		1未満 ^(注7)		50以下
	液処理系排気2	1G5	PCB	mg/m ³ N	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.000033	0.00001未満 ^(注6)	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N		0 ^(注8)		0.00000042	1年に2回	0.1以下
			ベンゼン	mg/m ³ N		1未満 ^(注7)		1未満 ^(注7)		50以下
	換気	1G6	PCB	mg/m ³ N	0.000035	0.000072	0.00012	0.000630	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N		0.000071		0.0028	1年に2回	0.1以下
			ベンゼン	mg/m ³ N		1未満 ^(注7)		1未満 ^(注7)		50以下
	分析室排気	1G7	PCB	mg/m ³ N	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	1年に4回	0.01以下
ダイオキシン類			ng-TEQ/m ³ N		0.00079		0.0000015	1年に2回	0.1以下	

(注5:調査地点は添付2及び3-1に示す)

(注6:検出限界値は0.00001mg/m³N)

(注7:検出限界値は1mg/m³N)

(注8:ダイオキシン類の測定結果「0」は毒性当量の算出結果がゼロになることを示す)

北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業
平成23年度 環境モニタリング調査結果

日本環境安全事業株式会社
北九州事業所

<排出源>

要素	調査地点 ^(注5)		調査項目	単位	測定結果				頻度	管理目標値
					4月	7月	10月	1月		
排気 (2期)	特殊解体排気	2G1	PCB	mg/m ³ N	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.000045	0.000010	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N		0.00014		0.000096	1年に2回	0.1以下
	中間処理排気	2G2	PCB	mg/m ³ N	0.000041	0.000026	0.000016	0.00001未満 ^(注6)	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N		0.000034		0.000030	1年に2回	0.1以下
	真空加熱分離系排気	2G3	PCB	mg/m ³ N	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N		0.0000024		0.0000006	1年に2回	0.1以下
			ベンゼン	mg/m ³ N		1未満 ^(注7)		2		50以下
	液処理系排気1	2G4	PCB	mg/m ³ N	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.000011	0.00001未満 ^(注6)	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N		0.000012		0.000014	1年に2回	0.1以下
			ベンゼン	mg/m ³ N		1未満 ^(注7)		1未満 ^(注7)		50以下
	液処理系排気2	2G5	PCB	mg/m ³ N	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N		0.000065		0 ^(注8)	1年に2回	0.1以下
			ベンゼン	mg/m ³ N		1未満 ^(注7)		1未満 ^(注7)		50以下
	液処理系排気3	2G6	PCB	mg/m ³ N	運転無し	運転無し	運転無し	運転無し	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	運転無し	運転無し	運転無し	運転無し	1年に2回	0.1以下
	プラズマ排気1	2G7-1	PCB	mg/m ³ N	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	1年に4回	0.01以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N		0.00000039		0.0000013	1年に2回	0.1以下
			硫黄酸化物	K値		0.0044未満 ^(注9)		0.0044未満 ^(注9)	1年に2回	K値=1以下 ^(注13)
			窒素酸化物	ppm		15		14	1年に2回	230以下 ^(注13)
			塩化水素	ppm		1未満 ^(注10)		1未満 ^(注10)	1年に2回	250以下 ^(注13)
プラズマ排気2	2G7-2	ばいじん	g/m ³ N		0.001未満 ^(注11)		0.001未満 ^(注11)	1年に2回	0.05以下 ^(注13)	
		PCB	mg/m ³ N				0.00001未満 ^(注7)	1年に4回 ^(注12)	0.01以下	
		ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N				0 ^(注8)	1年に2回 ^(注12)	0.1以下	
		硫黄酸化物	K値				0.0044未満 ^(注9)	1年に2回 ^(注12)	K値=1以下 ^(注13)	
		窒素酸化物	ppm				82	1年に2回 ^(注12)	230以下 ^(注13)	
換気	2G8	塩化水素	ppm				1未満 ^(注10)	1年に2回 ^(注12)	250以下 ^(注13)	
		ばいじん	g/m ³ N				0.001未満 ^(注11)	1年に2回 ^(注12)	0.05以下 ^(注13)	
分析室排気	2G9	PCB	mg/m ³ N	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	0.00001未満 ^(注6)	1年に4回	0.01以下	
		ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N		0 ^(注8)		0.0000067	1年に2回	0.1以下	

(注5: 調査地点は添付2及び3-2に示す)

(注6: 検出限界値は0.00001mg/m³N)

(注7: 検出限界値は1mg/m³N)

(注8: ダイオキシン類の測定結果「0」は毒性当量の算出結果がゼロになることを示す

(注9: 検出下限値はK値=0.0044)

(注10: 検出下限値は1ppm)

(注11: 検出下限値は0.001g/Nm³)

(注12: プラズマ排気2は1月より稼働のため平成23年度は1回測定)

(注13: 1時間平均値)

北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業

平成23年度 環境モニタリング調査結果

日本環境安全事業株式会社

北九州事業所

<排出源>

要素	調査地点 ^(注1)	調査項目	単位	測定結果		頻度	管理目標値
				8月(雨水は7月)	2月		
排水	下水排水渠	PCB	mg/L	0.0005未満 ^(注14)	0.0005未満 ^(注14)	1年に2回	0.003以下
雨水	敷地出口	PCB	mg/L	0.0005未満 ^(注14)		1年に1回	0.003以下
		ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.60			10以下
悪臭	敷地境界 (風上)	アセトアルデヒド	ppm		0.005未満 ^(注15)	1年に1回	0.05以下
		トルエン	ppm		1未満 ^(注16)		10以下
		キシレン	ppm		0.1未満 ^(注17)		1以下
	敷地境界 (風下)	アセトアルデヒド	ppm		0.005未満 ^(注15)		0.05以下
		トルエン	ppm		1未満 ^(注16)		10以下
		キシレン	ppm		0.1未満 ^(注17)		1以下
騒音	敷地境界 (北)	騒音レベル	dB(A)		52(49)	1年に1回	70以下 (夜間65以下)
	(南)				62(62)		
	(東)				57(54)		
	(西)				64(60)		

(注1:調査地点は添付2に示す)

(注14:検出限界値は0.0005mg/L)

(注15:検出限界値は0.005ppm)

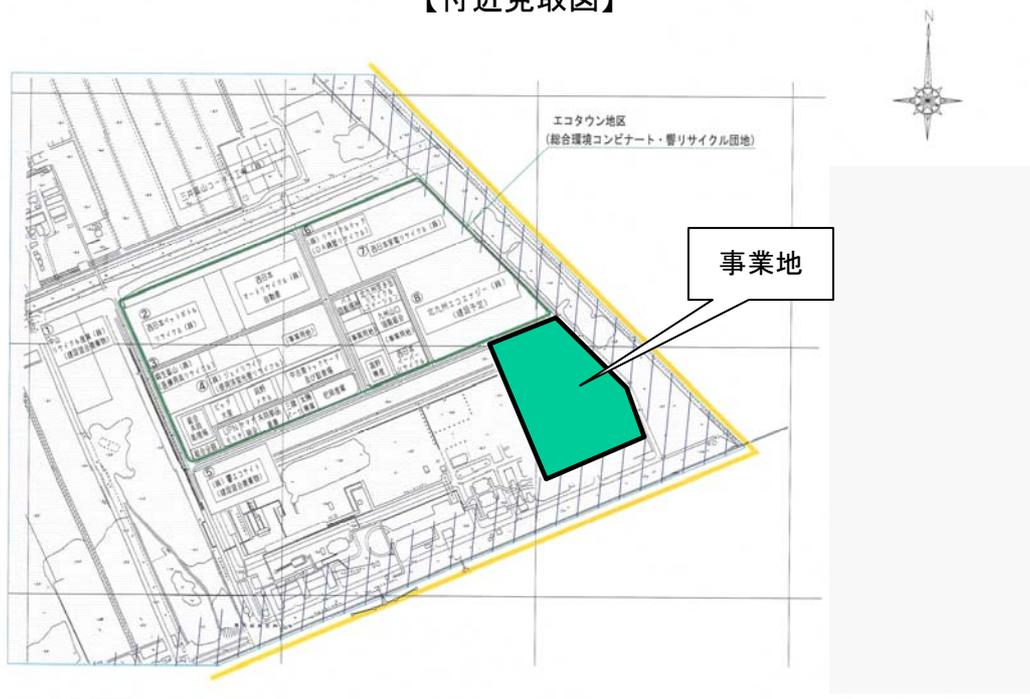
(注16:検出限界値は1ppm)

(注17:検出限界値は0.1ppm)

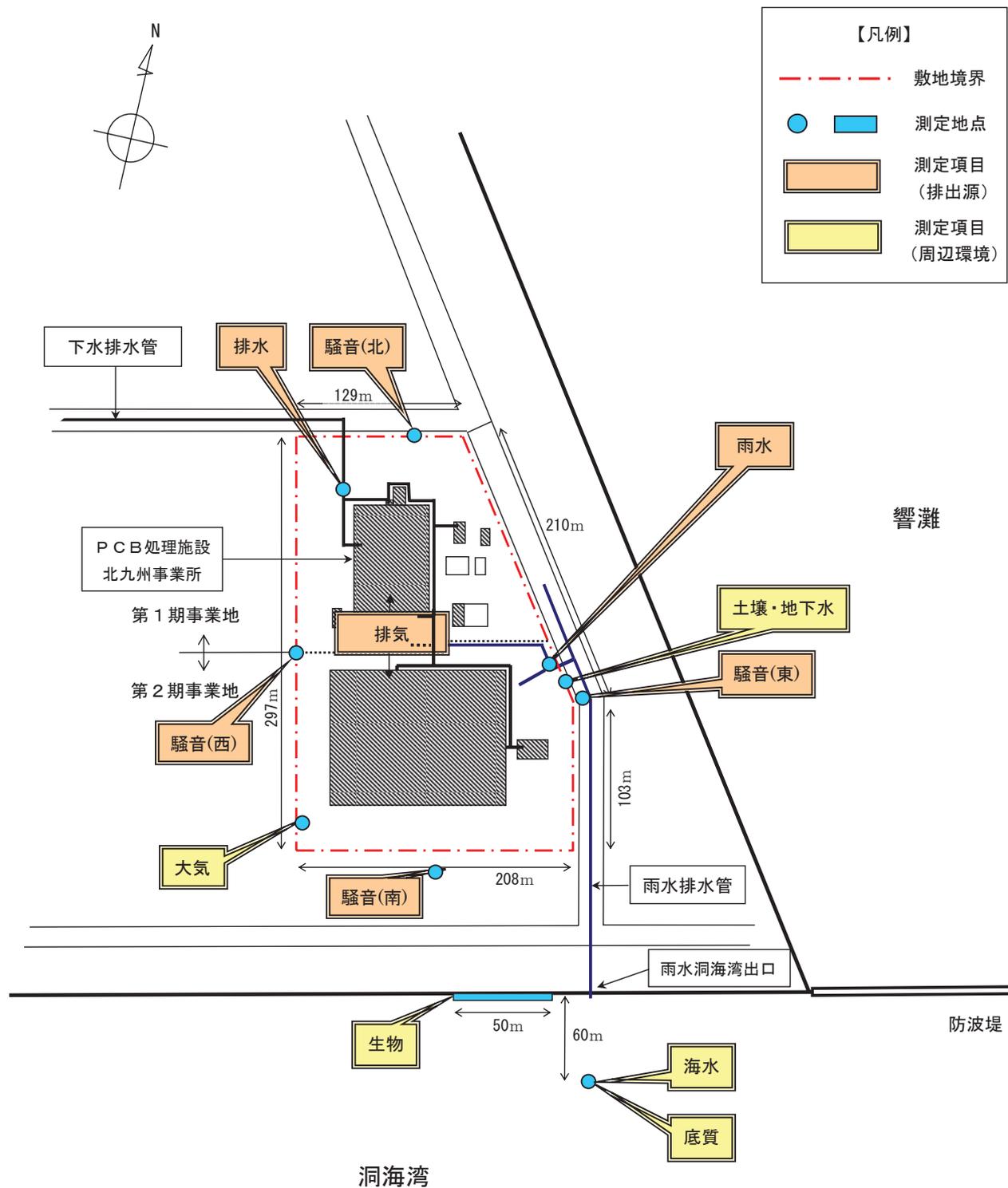
【事業地 位置図】



【付近見取図】



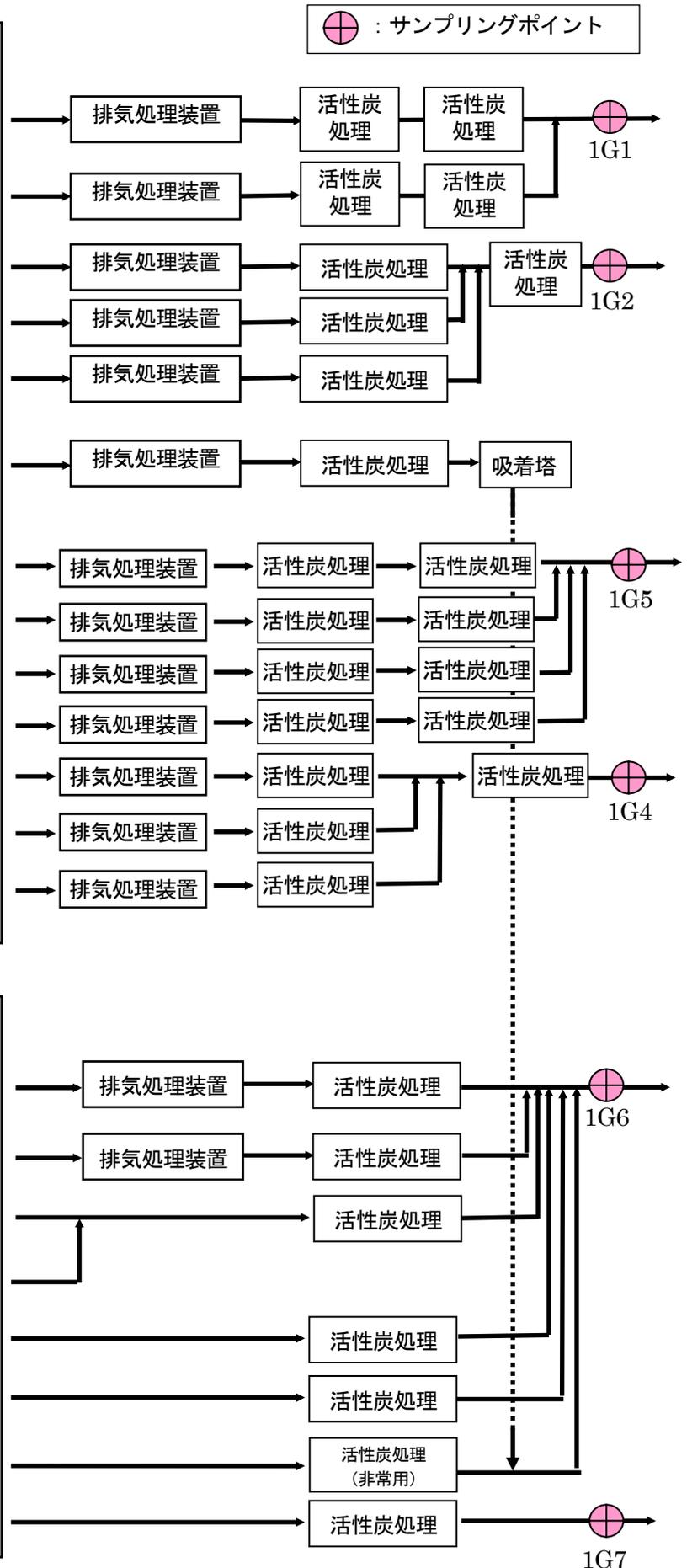
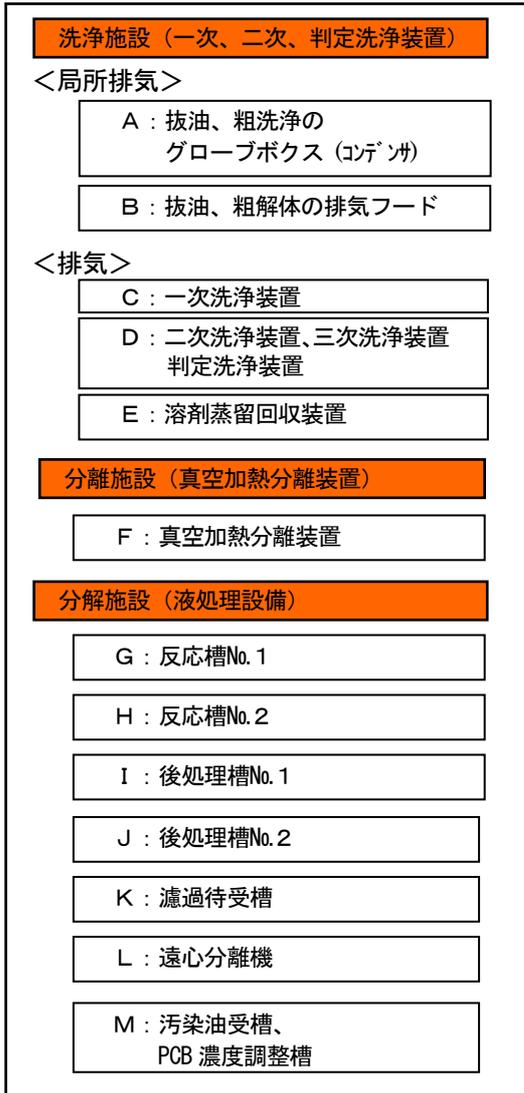
北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業 環境モニタリング調査地点図



悪臭

悪臭は測定日当日の風上と風下でサンプリングします。

サンプリング箇所（1期施設）



サンプリング箇所（2期施設）

